

炭酸ガス施用による冬季のきく品質向上技術の実証

要約

品種「神馬」において、炭酸ガスを施用することにより上位等級の発生割合が増加して品質が向上することが確認できた。また、販売金額の増加が炭酸ガス施用に係る費用を上まわり収益が上がる。

○ 展示のねらい

切花生産における炭酸ガスの施用は、バラ栽培で一早く導入され、収量や品質向上など一定の成果に繋がっている。きく生産においも、切花品質を向上させることが期待できるため、きく生産において同技術を実証した。

展示内容 供試区 炭酸ガス施用 400ppm
対照区 炭酸ガス無施用 (部会平均出荷実績)

○ 主な成果

発生規格は、2 Lで供試区 59.4%、対照区 33.7%、Lで供試区 22.9%、対照区 24.4%、Mで供試区 16.7%、対照区 34.3%だった。炭酸ガス施用の効果が確認され、下位等級が減少し、上位等級が増加した。

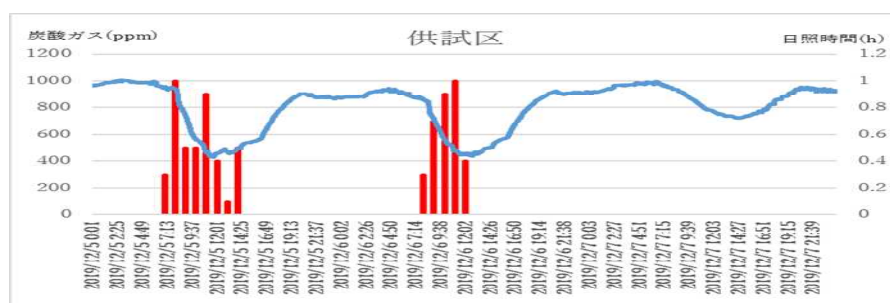
部会の平均単価での販売を推計すると 330,008 円の増収となる (表 1)。

炭酸ガスの吸収は日照に影響される (図 1)。

表 1 販売金額及び炭酸ガス施用に係る経費(10a あたり)

処理区	粗収益①		炭酸ガス施用に係る経費②		①-②(円)
	販売金額(円)	減価償却費(円)※	動力光熱費(円)		
供試区	2,028,087	45,738	110,200		1,872,149
対照区	1,542,141	0	0		1,542,141

※ 炭酸ガス発生装置の耐用年数を7年とした。



※ 日照時間は大田原アメダスより

図1 供試区炭酸ガス濃度と日照時間の推移(12/5~7)

○ 今後の方向性

炭酸ガス施用に併せ、灌水量も多くなるのでハウス内環境の把握を行い、他の環境要因改善も合わせて行うことが必要である。

実施機関： 那須農業振興事務所経営普及部 実施場所： 大田原市

問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315